令和８年度　社会福祉法人宇医会事業計画

【基本方針】

社会福祉法人として地域に根ざし、地域の人々のためになる施設であることを目指し良い人間関係、職場環境づくりを行います。

介護の質の向上と利用者の確保に向けて、高齢者施設として、専門性の高い介護を提供していきます。各自が自己研鑽の意識を持ち質の向上をめざし、ひいては施設の介護の質が向上できるよう施設内研修を充実させ、外部研修への参加の機会をもうけていきます。

施設部門においては、利用者の入院日数を減少できるよう、日ごろからの健康管理、早めの担当医との連携を行います。また、退去者が出た場合に、空床期間を作らないように、待機者の状況把握を行い、速やか入所に繋げてまいります。

在宅部門においては、地域に出向き、地域に選ばれる施設を目指し、地域の人々がもつニーズの解決に向けて真摯に対応してまいります。

職員の働き方について、身体的負担の軽減を行えるようにノーリフティングの介護を充実させていきます。また生産性向上の観点から業務の見直しを適宜に行い、仕事の効率化を図ります。残業をしない環境づくりに取り組みます。

令和9年度の介護保険法改正に向けて、年間を通して情報収集、分析を行なっていくことで、蕉夢苑の全部門が制度に添ったスムーズな基盤整備が行えるように対応してまいります。

【重点実施計画】
1.介護の質の向上と利用者の確保
2.継続的な発展と安定的な経営
3.生産性向上と働き方の改善

【事業計画】
1　会務の運営
　法令に準拠した法人運営のため、法人の業務執行の決定等の諮る機関として、適切な時期に理事会・評議員会、監査を開催します。

項目	開催時期・頻度
会務の運営	理事会　(決算時期)5 月 (事業計画・予算)3 月 その他必要時 評議員会(決算時期)5 月 (事業計画・予算)3 月 その他必要時 監査　(監事監査)5 月 内部経理監査　毎月
項目	開催時期・頻度
運営管理	経営会議　毎月最終金曜日　必要時 幹部会議　毎月最終金曜日　必要時

2　人事考課行動計画
　職員育成とキャリアパスの視点を持ち、職員を公正に評価し人事管理を実施していきます。

項目	開催時期・頻度
人事効果行動計画	人事考課評価判定　前期(前年 10 月～3 月)4 月 後期(4 月～9 月)10 月

3　サービス品質
　サービスの質の向上、リスクマネジメントの観点から、各種委員会を実施していきます。

項目	開催時期・頻度
サービス品質	苦情解決委員会　毎月第 1 金曜日 事故再発防止検討員会　毎月第 2 金曜日 感染症・食中毒対策委員会　毎月第 2 金曜日

項目	開催時期・頻度
	身体拘束廃止検討委員会　　毎月第 3 金曜日 高齢者虐待防止委員会　　毎月第 3 金曜日 個人の尊厳・接遇検討委員会　毎月第 4 金曜日 利用者満足度調査(施設部門・在宅部門)6 月 苦情解決第三者委員会　9 月

4　職員研修

職員の資質向上と組織力強化を目指し、研修会を実施していきます。

項目	開催時期・頻度
職員研修	BCP(災害訓練)(感染症)2 回/年 身体拘束適正化　2 回/年 虐待予防　　2 回/年 職員全体研修　奇数月最終金曜日 制度改正に向けての勉強会　　3 回/年 OJT　　職務を通じて随時指導・研修

5　行事

施設の安全管理、地域交流、季節に応じた行事を実施していきます。

項目	開催時期・頻度
	定期健康診断　　2 回/年　6 月・12 月 消防用設備点検　1 回/年　4 月 避難訓練　　2 回/年　4 月(夜間想定)・10 月(昼間想定) 消防団懇談会　　1 回/年　11 月 定期建築設備点検　1 回/年　10 月 敬老会　　9 月 クリスマス会　　12 月

生活支援部門

【生活支援部門スローガン】
いつもそばに　～親切丁寧～

【基本方針】
施設サービス計画に基づき、可能な限り居宅における生活への復帰を念頭において、利用者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことが出来るよう運営を行います。
入所者の意思及び人格を尊重し、常に入所者の立場に立ってサービスを提供するよう努めます。
明るく家庭的な雰囲気を有し、地域や家庭との結びつきを重視した運営を行い、市町村、居宅介護支援事業者、居宅サービス事業者、他の介護保険施設その他の保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者との密接な連携に努めます。

【数値目標】
稼働率 100％

	目標基準値	上半期達成予定	下半期達成予定
目標項目と数値指標	稼働率（利用者 1 ヵ月稼働率）	100％	100％
目標項目と数値指標	ショートスティ月平均利用者数	16 名	16 名

【重点実施計画】
1. 地域ニーズに合わせたサービス提供と利用者の安定確保の継続
2. 利用者・家族のニーズに応じたサービス提供とチーム連携の標準化の構築
3. 職員の資質向上

【年間行事・サービスの品質・職員研修・勉強会】

月	事　　業	サービスの品質	職員勉強会・研修等
4 月	居宅へのＰＲ 福祉会への参加 入所待機者再調査票発送 消防訓練	LIFE 各種データ作成	
5 月	入所待機者再調査回収	LIFE 各種データ提出	BCP（災害）訓練・研修 リスクマネジメント研修
6 月	入所待機者再調査票集計	アンケート準備	
7 月	ワークキャンプ	アンケート実施 LIFE 各種データ作成	BCP（感染症）訓練・研修 認知症の研修
8 月	ワークキャンプ		

月	事　　業	サービスの品質	職員勉強会・研修等
9月	敬老会	アンケート改善の実施	身体拘束 高齢者虐待 コンプライアンス プライバシー保護の研修
10月	消防訓練		
11月	福祉出前講座（小学校）		BCP（災害）訓練・研修 ハラスメントの研修
12月	クリスマス会		
1月	初詣		BCP（感染症）訓練・研修 食中毒の研修
2月			
3月	入所待機者再調査準備		身体拘束 高齢者虐待・人権擁護の研修
通年	居宅へのPR 福祉会への参加 入所判定委員会の実施	入所者常会 処遇検討会 LIFEの活用 生産性向上の取り組み 認知症ケアチームへの取り組み 苑だより作成	

施設介護部門

【介護部門スローガン】
これでよし、思い込まずに再確認

【基本方針】
利用者の尊厳を尊重し、安全を優先しながら質の高いサービスを提供します。
一人ひとりの心身の状態に応じた個別ケアを実施します。
褥瘡発生のリスクがある利用者の褥瘡予防を実現するため、多職種協力で質の高いケアを目指します。
口腔ケア・嚥下機能の維持・向上を意識し、多職種協力で誤嚥性肺炎のリスクを減らしていきます。

【数値目標】
入院者0名・介助中の怪我など0件

	目標基準値	上半期達成予定	下半期達成予定
目標項目と数値指標	入院者0(肺炎での入院)	0名	0名
目標項目と数値指標	介助中の怪我・骨折	0件	0件

【重点実施計画】
1. 褥瘡・感染・誤嚥性肺炎予防
2. コミュニケーションの充実
3. 生産性向上の取り組み

【年間行事・サービスの品質・職員研修・勉強会】

月	事　業	サービスの品質	職員勉強会・研修等
4月	消防訓練	ＬＩＦＥデータ作成 褥瘡計画書作成	介護職会議
5月			ＢＣＰ（災害）訓練・研修 リスクマネジメント
6月	健康診断		感染症対策勉強会
7月	ワークキャンプ	ＬＩＦＥデータ作成 褥瘡計画書作成	ＢＣＰ（感染）訓練・研修 認知症研修
8月	ワークキャンプ		褥瘡予防勉強会
9月	敬老会		身体拘束・虐待防止研修 コンプライアンス プライバシー保護研修
10月	消防訓練・健康診断	ＬＩＦＥデータ作成 褥瘡計画書作成	介護職会議
11月			BCP（災害）訓練・研修

月	事　　業	サービスの品質	職員勉強会・研修会
11 月			ハラスメント研修
12 月	クリスマス会		感染症対策勉強会
1 月	初詣	ＬＩＦＥデータ作成 褥瘡計画書作成	ＢＣＰ（感染）訓練・研修 食中毒研修
2 月			褥瘡予防勉強会
3 月	花見		身体拘束 高齢者虐待・人権擁護の研修
通年	感染症の予防 誤嚥性肺炎の予防 褥瘡ゼロ コスト削減 ＢＣＰへの取り組み 生産性向上の取り組み 地域との交流・福祉会への参加 ノーリフトへの取り組み	【自立支援型介護の継続】 ケアプランに基づいた自立支援を促す 日常生活動作の活性化 利用者の楽しみづくり	【職員のスキルアップ】 研修会等への参加

看護部門

【看護部門スローガン】
褥瘡予防！～チームで連携、予防の意識を高めよう～

【基本方針】
健康管理と医療的ケアを提供し、利用者と家族の意向を尊重しながら自立支援と生活の質の維持・向上に努めます。
他の専門職と密に連携を取り、安全で質の高いサービス提供を目指ざします。

【数値目標】
褥瘡０（ゼロ）

	目標基準値	上半期達成予定	下半期達成予定
目標項目と数値指標	褥瘡発生	0名	0名
目標項目と数値指標	感染症発生	0名	0名

【重点実施計画】
1. 褥瘡・感染症の予防
2. 協力医・専門職との連携による健康維持と疾病悪化の予防
※褥瘡・感染症・誤嚥・介助中の事故を防ぐ
3. 専門知識を高め、実務に活かす

【年間行事・サービスの品質・職員研修・勉強会】

月	事　業	サービスの品質	職員勉強会・研修等
4月	「感染性胃腸炎」勉強会		
5月			BCP（災害）訓練・研修
6月	「疥癬」		
7月		医療連携会議	BCP（感染症）訓練・研修
8月	「頭シラミ」		
9月			身体拘束・虐待防止
10月	「インフルエンザ」		
11月			BCP（災害）訓練・研修
12月	「新型コロナウイルス」		
1月		医療連携会議	BCP（感染症）訓練・研修
2月	「レジオネラ菌」		
3月			身体拘束 高齢者虐待・人権擁護研修

月	事　　業	サービスの品質	職員勉強会・研修等
通年		協力医・専門職（PT/OT/歯科衛生士等）との随時連携 処遇検討会で褥瘡計画書等の確認	医務室の手順書の確認と見直し（毎月） 喀痰吸引等のマニュアルの確認（隔月）

栄養・調理部門

【栄養・調理部門スローガン】
利用者に寄り添った食事の提供

【基本方針】
委託業者の協力のもと、多職種連携して、利用者本位の食事提供を行っていきます。

【数値目標】
残菜量の減少

	目標基準値	上半期達成予定	下半期達成予定
目標項目と数値指標	残菜量の減少	月平均7%以下	月平均6%以下

【重点実施計画】
1. 無駄の無い、スムーズな食事提供
2. 利用者の要望・体調にあった安心・安全な食事の提供
3. 職員の資質向上

【年間行事・サービスの品質・職員研修・勉強会】

月	事　　業	サービスの品質	職員勉強会・研修等
4月	ＢＣＰマニュアルの確認	季節のお弁当	栄養士会研修出席
5月		季節のお弁当	リスクマネジメント BCP（災害）訓練・研修
6月		アルブミン値確認 季節のお弁当	食中毒について給食会議で実施
7月		季節のお弁当	認知症 BCP（感染症）訓練・研修
8月		季節のお弁当	
9月	非常食の入れ替え	敬老の日祝膳	身体拘束 プライバシー保護 コンプライアンスの研修
10月		季節のお弁当	栄養士会研修出席
11月		季節のお弁当	ハラスメント BCP(災害)訓練・研修
12月		アルブミン値確認 季節のお弁当	食中毒について給食会議で実施
1月		おせち	BCP(感染症)訓練・研修 食中毒の研修
2月		嗜好調査実施 季節のお弁当	
3月		季節のお弁当	

月	事　　業	サービスの品質	職員勉強会・研修等
3月			身体拘束 高齢者虐待・人権擁護の研修
通年	在庫・食数の管理 委託業者との連携	給食会議　　衛生管理 利用者の状態確認 各部署のイベントへの対応	委託調理スッタフへの 勉強会の実施（適宜）

居宅介護支援部門

【居宅介護支援部門スローガン】
地域共生社会の実現

【基本方針】
利用者が住み慣れた地域で安心して生活を継続できるよう、利用者本位・自立支援を基本理念とし、公正中立な立場で居宅サービス計画を作成し、適切なサービス調整を行います。また、医療・介護・地域資源との連携を強化し、質の高いケアマネジメントを提供します。

【数値目標】
支援件数の月平均

	目標基準値	上半期達成予定	下半期達成予定
目標項目と数値指標	150 件/月	150 件	150 件

【重点実施計画】
1. 地域の実情に応じた柔軟かつ効率的な取り組み、医療と介護福祉の連携
2. 適切なケアマジメントと公正中立性の確保
3. 職員の資質向上、幅広く総合的な視点で支援できる力

【年間行事・サービスの品質・職員研修・勉強会】

月	事　　業	サービスの品質	職員勉強会・研修等
4 月	出前講座 福祉会の開催 BCP 災害マニュアル見直し ケアマネジメントプロセス研修		
5 月	BCP（災害）訓練・研修		災害時マニュアルの確認
6 月	避難者名簿の見直し 生活困窮者への支援 自立支援制度の研修	在宅アンケート配布、回収	
7 月	支援センターだより夏号 BCP（感染症）訓練・研修	アンケート評価 他施設事業所見学	感染症マニュアルの確認
8 月	ヤングケアラー支援研修		
9 月	虐待防止研修		他法人との合同研修会 離苑対応マニュアルの確認
10 月	難病患者等への多職種連携の研修		

月	事　　業	サービスの品質	職員勉強会・研修等
11 月	支援センターだより冬号 BCP（災害）訓練・研修	他施設事業所見学	虐待防止マニュアルの確認
12 月	BCP（感染症）マニュアルの見直し		
1 月	BCP（感染症）訓練・研修 障がい者総合支援の研修		重要事項説明書の確認
2 月	倫理法令順守の研修		
3 月	支援センターだより春号 身体拘束研修		他法人との合同研修会について次年度の計画立案
通年	レスキュー事業の対応 医療機関との連携	定例会議、勉強会の開催 業務手順書の見直し	個人研修計画の実施

通所介護部門

【通所介護部門スローガン】
人と人がつながる　やさしい居場所

【基本方針】
利用者が、その有する能力に応じ可能な限り自立した日常生活を営むことが出来るよう、入浴・排泄・食事等の適切な介護と自立した生活に向けた支援を行います。

【数値目標】
安定した利用者の確保

	目標基準値	上半期達成予定	下半期達成予定
目標項目と数値指標	安定した利用者の確保	1日平均　28名	1日平均　28名

【重点実施計画】
1. 利用者数確保への取り組み
2. 自立支援・重度化防止の取り組み
3. 職員啓発活動の推進

【年間行事・サービスの品質・職員研修・勉強会】

月	事　業	サービスの品質	職員勉強会・研修等
4月	チラシ配布	花見 クレープ作り	入浴研修
5月	福祉会等へのPR	バラ見物 どら焼き作り	BCP（災害）訓練・研修
6月	チラシ配布	アジサイ見物	バーセルインデックス研修
7月		在宅アンケート調査	BCP（感染）訓練・研修
8月	チラシ配布	スイカ割り	
9月		敬老会	身体拘束・虐待防止研修 コンプライアンス プライバシー保護
10月	チラシ配布	コスモス見物 饅頭作り	消防訓練
11月	福祉会等へのPR	紅葉見物 饅頭作り	BCP（災害）訓練・研修
12月	チラシ配布	クリスマス会	
1月		初詣 ぜんざい会	BCP(感染症)訓練・研修
2月	チラシ配布	節分	マニュアルの見直し
3月		貼り絵	身体拘束

月	事　　業	サービスの品質	職員勉強会・研修等
3 月			高齢者虐待・人権擁護の研修
通年	包括や居宅事業所との連携	レク活動 LIFE の活用	外部研修

ケアハウス部門

【ケアハウス部門スローガン】
入居者が自分らしく生活できる環境づくり

【基本方針】
高齢者が安心・安全に生活できる住まいを提供し、自立した生活の継続を支援します。
入居者一人ひとりの生活歴･価値観を尊重し､必要に応じて外部サービスと連携します。

【数値目標】
稼働率100%を目指す　2人部屋の空室対策（入居促進、情報発信）

	目標基準値	上半期達成予定	下半期達成予定
目標項目と数値指標	稼働率100%（30名）	100%	100%

【重点実施計画】
1. 地域への情報発信、連携
2. 入居者満足度の向上
3. 職員研修、人材育成

【年間行事・サービスの品質・職員研修・勉強会】

月	事　業	サービスの品質	職員勉強会・研修等
4月	パンフレット配布	花見	
5月		運動会	リスクマネジメント BCP（災害）訓練・研修
6月	パンフレット配布	紫陽花見学	外部研修
7月	地域福祉会参加	外食ツアー	認知症 BCP（感染症）訓練・研修
8月	パンフレット配布	納涼祭	他施設見学
9月		敬老会	身体拘束 コンプライアンス プライバシー保護の研修
10月	パンフレット配布	外食ツアー	
11月		のど自慢大会	ハラスメント BCP（災害）訓練・研修
12月	パンフレット配布	クリスマス会、餅つき	外部研修
1月	地域福祉会参加	初詣、新年会	食中毒 BCP（感染症）訓練・研修
2月	パンフレット配布	外食ツアー	他施設見学
3月		粟島神社参拝	身体拘束 高齢者虐待・人権擁護の研修

月	事　　業	サービスの品質	職員勉強会・研修等
通年	待機者の情報共有確認 入居判定委員会の実施	懇談会 ケース検討会 満足度調査アンケート	その他の研修（適宜）